

九州大学
教育・研究
の
最前線

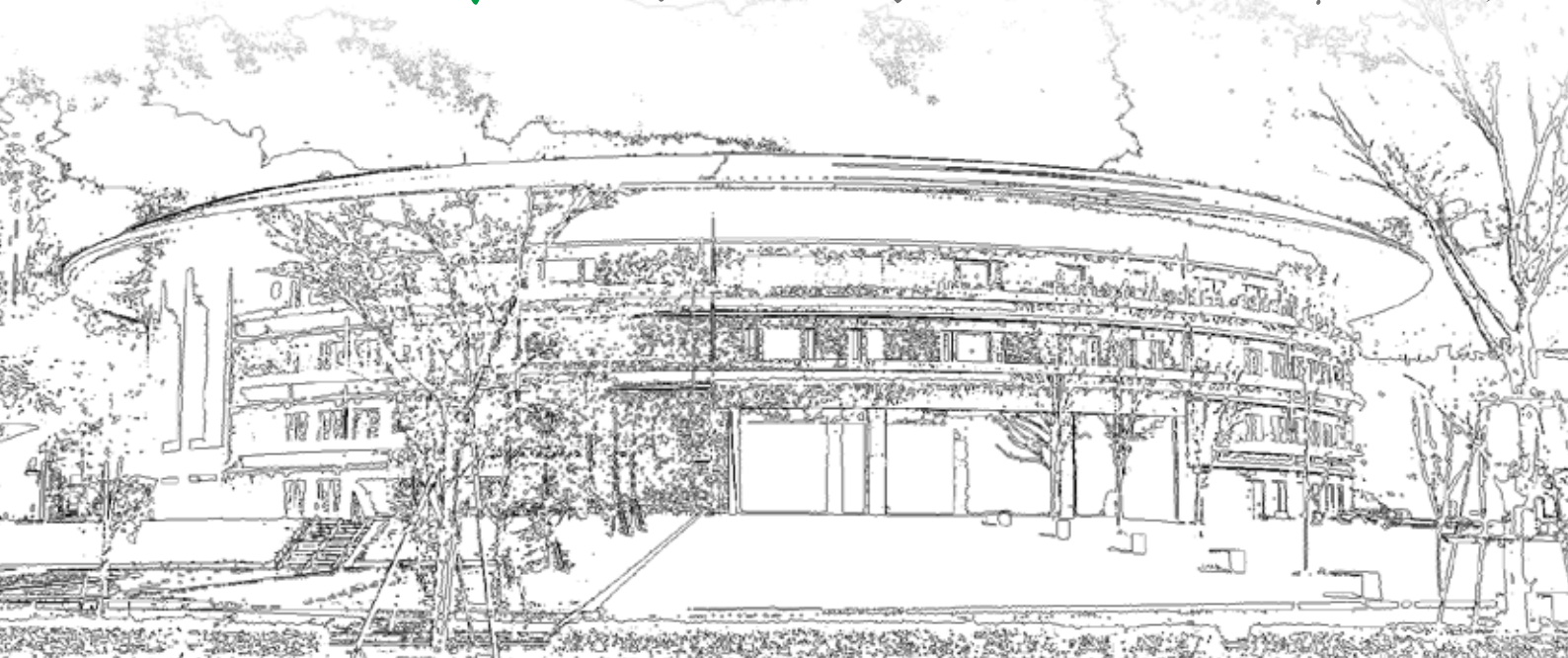
九州大学総合研究博物館 特別展示
— 第13回P&P研究成果一般公開 —

椎木



Kyushu University Interdisciplinary Programs in Education and Projects in Research Development

ことしは **椎木講堂** であつてます



2014年10月18日(土) — 11月14日(金)

九州大学伊都キャンパス 椎木講堂 ホワイエ

時間 9時—17時
休館 土曜・日曜・祝日
18日(土)は、ホームカミングデー&アナムライフエスのため閉場

観覧料 無料

ご来場の際は、できるだけ公共の交通機関をご利用下さい。
お車でお越しの際は、椎木講堂横駐車場をご利用になるか、正門守衛所にて「P&P展」観覧の旨お申し出下さい。

主催 研究戦略委員会・総合研究博物館

P & P とは

P & P(九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト)とは、九州大学として、一定の期間研究費等の重点配分を行い、本学の教育と研究の一層の発展を図ることを目的とするものです。九州大学総合研究博物館では、平成14年度より研究戦略委員会と共に「九州大学教育・研究の最前線」と題しまして、P & Pに採択された研究の成果を一般公開してきました。ぜひ、この機会に九州大学にお越し下さい。

1. ゲノム・エピゲノム研究拠点形成
2. 文理融合型の知覚・認知研究拠点
3. 海岸構造物の洗掘防止と環境保全を考慮した耐津波補強技術に関する研究
4. アジア人の食と腸内細菌と健康に関する調査研究
5. 初修外国語による Web 教材の開発・発展研究
6. 病院地区における 3D 教材の開発および開発・提供体制の構築
7. リハビリ支援ゲームの開発評価拠点構築のための先行研究
8. 医農理工連携による「におい」の最先端総合研究
9. バイオインスパイアード・ケミストリーを基盤とする新規環境浄化法の開拓
10. ミトコンドリアのウイルス自然免疫応答における役割解明
11. 心疾患時の線維化制御に向けた筋線維芽細胞の新規細胞サブセットの性質解明
12. 嵩高いルイス酸-塩基形成を活用した発光色の制御可能な固体発光材料の開発
13. 気相中での分光分析応用に向けた高強度紫外10フェムト秒パルス光源開発
14. 数理生物学的手法による抗ウイルス薬の薬効評価系確立に向けた理論構築
15. 空間の知覚と評価-感性を切り口とした知覚の基礎研究
16. 漢語史における指示詞と人称詞
17. 国際キャリアパス拠点と e-Science を基軸とした国際研究教育の先進化
18. 酸化インジウム亜鉛中のエキシトン流を利用した超高速・超低消費電力トランジスタの開発
19. 好酸性鉄還元細菌を利用した重金属および放射性元素の新規バイオレメディエーション技術開発
20. 金融危機が金融システムに与えた影響に関する研究教育拠点形成
21. 高精度元素・同位体分析システムを用いた原始古代人口移動・物流ネットワークの研究

タイプ・採択番号順 敬称略

- 生体防御医学研究所 佐々木 裕之
- 芸術工学研究院 中島 祥好
- 工学研究院 HAZARIKA HEMANTA
- 農学研究院 中山 二郎
- 言語文化研究院 KASJAN ANDREAS STEFAN
- 附属図書館付設教材開発センター 吉田 素文
- 芸術工学研究院 松隈 浩之
- 基幹教育院・医学研究院 岡本 剛
- 工学研究院 久枝 良雄
- 理学研究院 小柴 琢己
- 薬学研究院 仲矢 道雄
- 工学研究院 小野 利和
- 工学研究院 貴田 祐一郎
- 理学研究院 岩見 真吾
- 人間環境学研究院 三浦 佳世
- 言語文化研究院 西山 猛
- 応用力学研究所 藤澤 彰英
- システム情報科学研究院 板垣 奈穂
- 工学研究院 沖部 奈緒子
- 経済学研究院 内田 文謹
- 比較社会文化研究院 田中 良之

